

課題名 当院における腹膜透析患者の現状

**【研究責任者】**

透析センター 看護師 朝枝 正江

**【研究の目的】**

慢性腎臓病患者（以下 CKD）に対し腎代替療法（血液透析：以下 HD、腹膜透析：以下 PD、腎移植、保存的腎臓療法）には、それぞれのメリット、デメリットがある。PD は、在宅医療であり HD に比べ患者の QOL 満足度が高い治療法といわれている。しかし、日本透析学会の統計調査から PD 選択率は低いのが現状である。そのような中、当院では 2015 年より PD 療法を導入し患者数は年々増加傾向にある。山口県において PD 患者数が最も多い当院の動向と現状を把握し、在宅医療である PD 患者の増加の背景を考察するとともに、CKD 患者の増加、高齢化が進む中で PD 導入の意義を見出すことを目的とする。

**【研究の期間】**

実施許可願承認後～2024 年 8 月 31 日

**【研究の方法】**

- 1) 2015 年～2024 年に PD を導入した患者の既存データを使用する
- 2) 患者の属性および PD 導入件数、PD 歴などを集計する

**【倫理審査 委員会承認日】**

2024 年 8 月 23 日

**【倫理審査 院長承認日】**

2024 年 8 月 23 日

**【研究の資金源】**

なし

**【利益相反】**

なし

◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方に

ご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構柳井医療センター  
〒742-1352 山口県柳井市伊保庄 95  
TEL(0820)27-0211(代)  
研究責任者 看護師 朝枝 正江